



未来の 生活を 考える スクール

2022 #9 まちが終わること、
12/18 SUN 続くこと
OPEN 13:00 / CLOSE 16:30



主催 秋田市文化創造館

未来の生活を考えるスクール

要申込
託児サービス
手話通訳
12/8(日)

託児
対象
生後4カ月
〜就学前

※料金無料

「新しい知識・視点に出会い、今よりちょっと先の生活について考える」ための
トークイベントやワークショップを開催しています。

縮小高齢社会における地域づくりやサステナビリティ教育など、新しい発展や豊かさの定義を研究する国際教養大学准教授の工藤尚悟さん、「変化にもっと優しく」という理念を掲げ、地域の変化をありのまま受け止めていくことのできる状態をめざす NPO法人ムラツギ共同代表理事の前田陽汰さんをゲストに迎え、トークを行います。どんなものも始まりがあれば、終わりがある。きっとそれはまちも同じ。けれど、まちのこれからを話す場面では、まちが続いていくことが前提とされていることが多い不思議。もちろんまちは続いてほしい。でも、少子高齢化・人口減少の影響をいろいろな場面で感じるようになった今、「まちはこれからも当たり前が続いていくのだ」という暗黙の了解が、まちで暮らしたり・関わったりする人々を苦しめてはいないでしょうか。そもそも、まちが続くことってどういうこと？ まちが続くことを願ってしまうのはなぜだろう？ まちが終わることってあるの？…正解なんてきっとない、まちのこれからのことをゲスト2人のお話を聞きながら考えます。

12/18
2022
SUN

#9 まちが終わること、続くこと
OPEN 13:00 / CLOSE 16:30

会場 | 秋田市文化創造館 2階スタジオ B
定員 | 25名 (要申込、先着順)



カタルバー開店

会場 | 2階カウンター
時間 | 16:30~17:30
参加費 | 無料 (申込不要)

誰かと語り合うだけのバー「カタルバー」が開店！
未来の生活を考えるスクールで考えたことを語り合うもよし、じっくりと自分の考えを整理したりもよしです。



工藤 尚悟

国際教養大学国際教養学部グローバル・スタディーズ領域・准教授。東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了(博士・サステナビリティ学)。南アフリカ・フリーステート大学アフロモンテーンリサーチユニット客員研究員。専門は、サステナビリティ学、開発学、教育学、地域づくり。秋田と南アフリカ・ザンビアの農村地域を行き来しながら、異なる風土にある主体の邂逅から生まれる“通域的な学び(Translocal Learning)”というコミュニティ開発の方法論の構築に取り組んでいる。秋田県能代市出身。近著に『私たちのサステナビリティ:まもり、つくり、次世代につなげる』岩波書店。

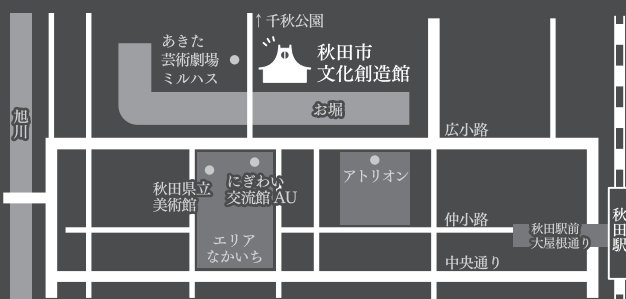


前田 陽汰

鳥根県隠岐郡海士町で3年間生活する中、人口減少が著しい地域を目の当たりにし、地域活性化や人口増加といった成長至上主義では日本は持たないことに気づく。それから家や山などの私財、寺や学校といった公共財、地域そのものの量み方に関心を持ち、慶應義塾大学にて「物事の量み方」をテーマに研究活動を行う。研究の中で、これから日本に訪れる「撤退戦」に備えるには縮小や衰退を含む「変化」にもっと優しい眼差しを向ける必要があると考え、「変化にもっと優しく」というビジョンを掲げる NPO法人ムラツギを立ち上げる。

秋田市文化創造館について

2021年3月21日に開館。秋田に暮らす人のために、自分らしい表現を探す人のために、新しい活動を生み出す拠点です。多様な文化活動との出会いの場を提供するとともに、自ら創作活動を行う方、新たな活動をはじめようとする方々を応援します。[<https://akitacc.jp>]



お問い合わせ・お申し込み

秋田市文化創造館

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町 3-16
☎ 018-893-6424 ✉ program@akitacc.jp
[開館時間] 9:00~21:00
[休館日] 火曜日(休日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

託児サービス・手話通訳をご希望の方は、事前にご予約ください。

お電話または
フォームから
どうぞ

参加申込はこちら



●JR「秋田駅」西口から徒歩約10分 ●秋田中央交通「千秋公園入口」下車徒歩約5分 ●中心市街地循環バス(ぐるる)「ミルハス前」下車すぐ
※駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。車イスご利用の方などはお申し出ください。